

リハビリテーション科

臨床研修期間（2年間）	
病院名（60病院）	医療圏
横浜労災病院	横浜
昭和医科大学藤が丘病院	
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	
横浜旭中央総合病院	
菊名記念病院	
汐田総合病院	
昭和医科大学横浜市北部病院	
済生会横浜市東部病院	
済生会横浜市南部病院	
横浜南共済病院	
横浜栄共済病院	
横浜市立大学附属病院	
横浜市立みなと赤十字病院	
横浜市立大学附属市民総合医療センター	
横浜中央病院	
けいゆう病院	
横浜医療センター	
横浜市立市民病院	
国際親善総合病院	
戸塚共立第1病院	
東戸塚記念病院	
聖隷横浜病院	川崎北部
帝京大学医学部附属溝口病院	
聖マリアンナ医科大学病院	
川崎市立多摩病院	
新百合ヶ丘総合病院	川崎南部
虎の門病院分院	
関東労災病院	
川崎市立川崎病院	
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院	
川崎協同病院	
川崎市立井田病院	
日本医科大学武蔵小杉病院	
川崎幸病院	相模原
相模原病院	
北里大学病院	
相模原協同病院	横須賀・三浦
横須賀市立総合医療センター	
横須賀共済病院	
横須賀市立市民病院	
湘南鎌倉総合病院	
大船中央病院	湘南東部
藤沢市民病院	
湘南藤沢徳洲会病院	
藤沢湘南台病院	
湘南東部総合病院	湘南西部
茅ヶ崎市立病院	
平塚市民病院	
平塚共済病院	
東海大学医学部付属病院	
伊勢原協同病院	県央
秦野赤十字病院	
大和市立病院	
海老名総合病院	
厚木市立病院	
東名厚木病院	
湘南厚木病院	県西
小田原市立病院	
山近記念総合病院	
神奈川県立足柄上病院	

⇒

専門医研修期間（標準3年間）						
基幹施設名(5病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群	
東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	小田原市立総合医療センター	県西	A	
			箱根病院	県西	A	
			湘南東部総合病院	湘南東部	B	
			湘南大磯病院	湘南西部	B	
			鶴巻温泉病院	湘南西部	B	
			伊勢原協同病院	湘南西部	B	
			東神奈川リハビリテーション病院	横浜	C	
			麻生リハビリ総合病院	川崎北部	C	
			関東労災病院	川崎南部	C	
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院	横浜	C	汐田総合病院	横浜	C	
			新横浜リハビリテーション病院	横浜	C	
			横浜旭中央総合病院	横浜	C	
			昭和医科大学藤が丘病院	横浜	C	
			昭和医科大学横浜市北部病院	横浜	C	
			港北ニュータウン診療所	横浜	C	
			横浜市総合リハビリテーションセンター診療所	横浜	C	
横浜市立大学附属病院	横浜	C	横須賀共済病院	横須賀・三浦	B	
			鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院	横須賀・三浦	B	
			藤沢市民病院	湘南東部	B	
			神奈川リハビリテーション病院	県央	B	
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C	
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C	
			横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	横浜	C	
			横浜市総合リハビリテーションセンター診療所	横浜	C	
			横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C	
			れいんぼう川崎診療所	川崎北部	C	
帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C	虎の門病院分院	川崎北部	C	
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C	麻生リハビリ総合病院	川崎北部	C	
			新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C	

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県西	A	小田原市立総合医療センター	406	当センターは、県西地域の基幹病院として、30の診療科を備え、急性期、高度医療や救急 医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。 また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。 全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、県内唯一の医師少数地域である県西地域で基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。	当センターは、令和8年5月4日に、「小田原市立総合医療センター」として名称を新たに開院し、最新の医療機器の導入や職員専用エリア(スタッフベース)を設置するなど、働きやすい職場環境が整っています。 当センターは地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病病連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。 当センターで地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。 また、当センターは、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れているとともに、ダビンチや遠隔医療システムなど、先進的な医療機器の導入も積極的に行っています。
県西	A	医療法人 小林病院	150	将来の医師の育成に貢献することにより地域医療の充実の一助となるよう努めたく、この度の受入を希望させていただきました。	「人に優しく」をスローガンに、多職種協働によるシームレスな医療を提供しております。また、職員一人ひとりの幸福の追求と働きやすい職場づくりに努めております。
横須賀・三浦	B	横須賀市立市民病院	339	各診療科の医師数は十分とは言えず、診療科によっては入院制限や緊急時の手術制限をする場合もある。二次保健医療圏の医師数の状況を踏まえても、更なる医師の確保が必要である。	派遣された医師が、臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した診療ができ、地域医療に貢献できるよう配慮していきます。
湘南東部	B	医療法人社団若林会 湘南中央病院	199	地域医療を希望する医師の確保	当院は回復期リハビリテーション病棟、急性期病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟、緩和ケア病棟を有し、院内には在宅診療科、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を併設しており地域医療を実践しています。後方支援として同法人設立の介護老人保健施設もあります。また、県、市からの要請により地域の医療確保に向け万全の体制で臨む医療機関です。
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	460	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
湘南西部	B	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
湘南西部	B	鶴巻温泉病院	494	回復期病棟が200床あるが、リハビリ診療医が少ないため。	回復期リハビリテーション病棟が200床あるほか他の病棟でも全病院的にリハビリテーションを実施しているほか、病院長が東北大学リハビリテーション科の元教授で名誉教授となっている。
県央	B	神奈川リハビリテーション病院	324	県内で医師の配置が最も逼迫している県央地区において、当該医師が当院の診療に加わることで、当院の臨床力の向上のみならず県央地域医療全体に貢献できるものと考えます。	令和元年8月に新病院がグランドオープンしました。40有余年の歴史と伝統のあるリハビリテーション医療を、ロボット手術支援システム(Mako)をはじめとした最新鋭の設備施設にて体得することができます。
横浜	C	昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院	197	特にリハビリテーション科及び眼科の一層の強化を目指しており、そのために多くの医師に入職してほしいと考えているからです。	当院は大学附属病院であり、かつ総合的なリハビリテーション医療を提供できるリハビリ専門施設である点が大きな特徴です。また回復期リハビリテーション病床のほか一般病床も保有していることから、多彩な症例を数多く経験することができます。
横浜	C	済生会横浜市東部病院	562	—	—
横浜	C	横浜市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。 2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りましょう。
横浜	C	横浜市立大学附属市民総合医療センター	655	—	—
横浜	C	医療法人裕徳会 港南台病院	77	84床の急性期に加え、令和3年5月に120床の地域包括ケア病院を開院しました。地域の中で入院診療、訪問診療、介護などの従来からの個別課題解決だけでなく、ネットワーク構築、地域課題発見、地域づくりや新たな資源開発、さらには政策提案などの様々な実務を実践していくうえで柔軟な思考、活動ができ、新たなことにチャレンジできる若い力を必要としています。	法人内に急性期病院、地域包括ケア病院、介護老健、有料老人ホーム、グループホーム、訪問看護ステーションがあり、都市型の地域医療を実践していくうえで、当法人ならではのユニークな経験を積むことができます。経験と指導能力に富む内科医師、外科医師に加え特に済生会横浜市南部病院と連携しながら診療を行っており、日本外科学会関連施設でもあることから、外科専門医制度と関連付けた修練を積むことも可能です。 キャリアの早い段階にこのような包括的な経験を積むことは、これからの新たな地域医療を実践する若手医師の成長に大きく寄与できるものと考えます。
横浜	C	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	300	地域医療の質向上及び当院の合併症対応機能の強化のため	当院の専門領域(脳血管疾患、神経疾患、脊椎脊髄疾患)について豊富な症例が経験できます。指導体制や施設・設備面も充実した環境となっています。

地域実践標準4年（専門研修を希望しない場合は7年間）					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由（病院説明事項）	キャリア形成に係るメリット（病院説明事項）
横浜	C	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院	453	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことからとくに、指導医が複数いる診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。
横浜	C	医療法人裕徳会 よこはま港南台地域包括ケア病院	120	各診療での医師人材受入れと育成を通じた地域医療への貢献	開院来50年に向かう港南台病院とともに、地域に密着した切れ目のない医療を提供しています。法人内に急性期病院、介護老健、有老ホーム、グループホーム、訪看ステーションを有しており、訪問診療も積極的に行っております。法人内外での連携を通じ、患者・家族に寄り添った医療を提供しております。
川崎北部	C	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	563	希望する診療科それぞれにおいて人員体制を強化し、診療体制を充実させ、その中で若手医師を育成し、神奈川県 の地域医療に貢献したいと考えています。	「地域医療への貢献」、「高度先端医療の実践」、「最良の安心を得られる医療」を目標に掲げ、救急患者を積極的に受け入れており、様々な救急疾患に対応できる能力を養うことができます。また最先端の医療機器を備え、高度な先進医療や予防医学を実践し、がん診療にも貢献しています。常勤医師220名超体制のもと、研修体制が充実しており、働き方改革に沿った勤務ができます。